



関節固定

四谷メディカルキューブ
手の外科チーム

関節固定術 手術説明

- 1.ヘバーデン結節について
- 2.予定している手術と方法
- 3.治療の流れ
- 4.手術前の検査・麻酔について
- 5.手術当日の流れ
- 6.手術後の経過について
- 7.手術によって起こりうる症状について
- 8.手術によって期待される効果と限界について

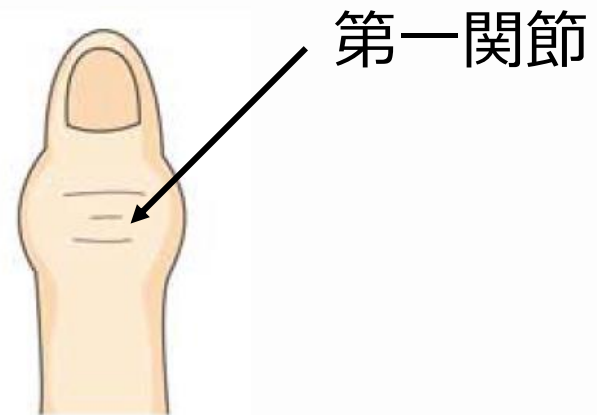
1. ヘバーデン結節について

- 症状

指の第1関節（DIP関節）が腫れたり曲がったりして痛い、痛みのために強く物を握ることができない、水ぶくれのような膨らみ（粘液嚢腫）が出てくる、などがみられます。



日本手外科学会
手外科シリーズ出典



軟骨の変性により、レントゲン撮影では関節裂隙（かんせつれつじき）の狭小化、骨棘（こつきょく）形成がみられます。

2. 予定をしている手術と方法

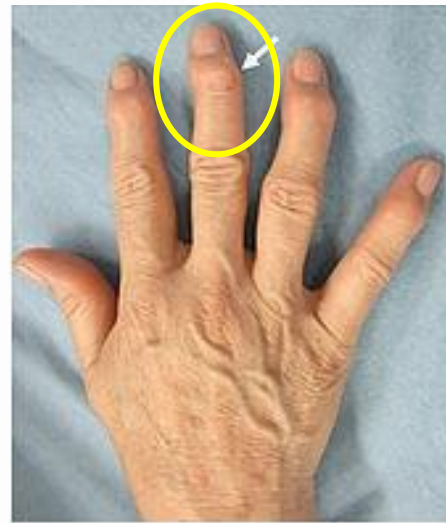
関節固定術

第一関節

チタン製の
スクリュー



手術前

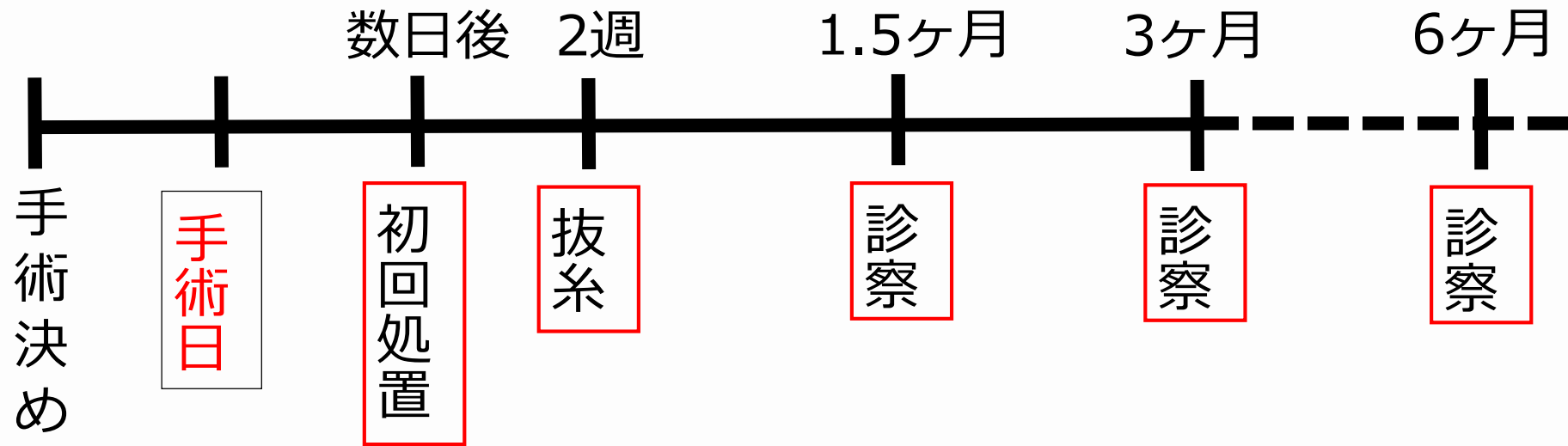


手術後



第一関節をチタン製のスクリューで固定します
手術後、第一関節は動かなくなります

3. 治療の流れ（来院していただく日）



- 手術数日後に初回処置、約2週後に抜糸があります。
- リハビリはありません。

4.手術前の検査・麻酔について

■必要な検査

血液検査、身長・体重計測などがあります。

■麻酔法

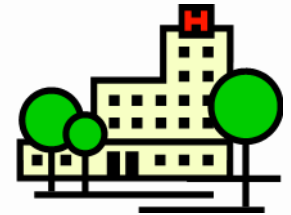
局所麻酔



5.手術当日の流れ

必ず指示された時間に1Fの受付にお越しく下さい。

担当者がご案内いたします。



■手術後は包帯を巻くため、袖口のゆったりした服や歩きやすい靴でお越し下さい。肩掛けバックやリュックサックでの来院をお勧めします。

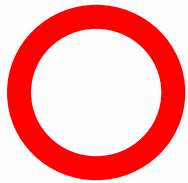
■手術費用は、3割負担概算で3万5千円程度(1指あたり)かかります。

6. 手術後の経過

【活動について】

- ・手術後は動かすことに制限はなく、よく動かしていただきます。書字や箸動作は痛みに合わせて使用して下さい。
- ・重い物を持つ、スポーツなどの動作は、術後1ヶ月以降から痛みに合わせて開始して下さい。

術後約1ヶ月以降から
痛みに合わせて開始しましょう



痛みに合わせて行いましょう



7.術後に起こりうる症状について

腫脹や浮腫

術後1～2週間はキズの炎症により、赤く熱っぽい腫れがみられます。術後2～3日をピークに徐々に赤みや熱は引いていきますが、むくみの腫れは残りやすく、3～6ヶ月かけて軽減します。できるだけ早く腫れを引かせるために、**高挙手（手を心臓より高く挙げる）**や、保冷材などで**アイシング（冷やすこと）**を積極的に行ってください。

術後のしびれ

手術中の操作によって、術後3～6ヶ月しびれることがあります。時間が経つにつれて徐々に消えていきます。

7.術後に起こりうる症状について

手のこわばりや動かしにくさ

手術後は炎症が起こり腫れるため、一時的に指（固定した関節以外）が動かしにくい、朝は硬くなって動かしにくいということがよくあります。むくみが軽減してくると徐々に改善してきます。

手の使いにくさ

手術後から軽作業は行っても構いませんが、力が入りづらかったり、少しの動きで痛みを伴ったりする事があり、うまく使えないことがよくあります。時間とともに徐々に使い方に慣れていきますが、手術直後から今まで通りにすぐに使い始めることは難しいです。



！ 家事などに関しては、ご家族にサポートをお願いしたり
道具など事前の準備をしておきましょう！！

8.手術によって期待される効果と限界



➤ 効果

手術をした第一関節は曲がりませんが、関節が動かないことで腫れや痛みが軽減します。1～2年経過すると、指が細くなります。



➤ 限界

手術をした第一関節は曲がりません。